

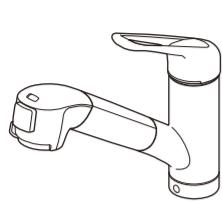
タカギ 混合栓施工説明書

takagi

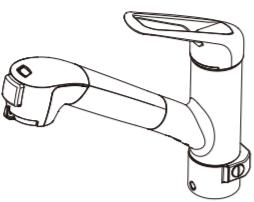
蛇口一体型浄水器 みず工房 エコ

- 施工前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- ここに示した「安全上の注意」は状況によって重大な結果（傷害・物損）に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。また、取扱説明書はお客様で保管いただくように依頼してください。
- 給排水管工事は専門業者でお願い致します。

施工対象機種一覧



・JL2シリーズ



・JL2分岐シリーズ

安全上のご注意

製品を安全に正しくお使いいただく前に

施工前に「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく設置してください。

絵表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようにになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

! 警告

この表示を守らずに誤った取り扱いをすると、人が死亡、または重傷を負う可能性が想定されている内容を示しています。

! 注意

この表示を守らずに誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定されている内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

! 禁止

○記号は、してはいけない「禁止」内容を示しています。

! 記号は、必ず実行していただく「強制」内容を示しています。

! 警告

- ・本品は屋内設置用です。屋外では使用しないでください。
- ・必ず製品に付属の部品を使用して施工してください。
- ・修理技術者以外の人は、水栓本体内部を分解しないでください。
- ・この説明書に記載された項目以外は分解・改造しないでください。

やけどや家財などを漏らす財産損害発生のおそれがあります

湯水を逆に配管しないでください。

他所の水栓の使用等により水圧変動が起こり、湯を使用中に湯温が急上昇することがあります。

給湯に蒸気を使用しないでください。

湯側の配管には手を触れないでください。

湯側の配管には手を触れないでください。

また、湯側の水抜きをする場合は、事前に湯側で吐水して、高温の湯が出ないことを確認してから水抜きを行ってください。

やけどや家財などを漏らす財産損害発生のおそれがあります

湯水を逆に配管しないでください。

他所の水栓の使用等により水圧変動が起こり、湯を使用中に湯温が急上昇することがあります。

給湯に蒸気を使用しないでください。

湯側の配管には手を触れないでください。

湯側の配管には手を触れないでください。

また、湯側の水抜きをする場合は、事前に湯側で吐水して、高温の湯が出ないことを確認してから水抜きを行ってください。

やけどをするおそれがあります

湯水を逆に配管しないでください。

他所の水栓の使用等により水圧変動が起こり、湯を使用中に湯温が急上昇することがあります。

給湯に蒸気を使用しないでください。

湯側の配管には手を触れないでください。

湯側の配管には手を触れないでください。

また、湯側の水抜きをする場合は、事前に湯側で吐水して、高温の湯が出ないことを確認してから水抜きを行ってください。

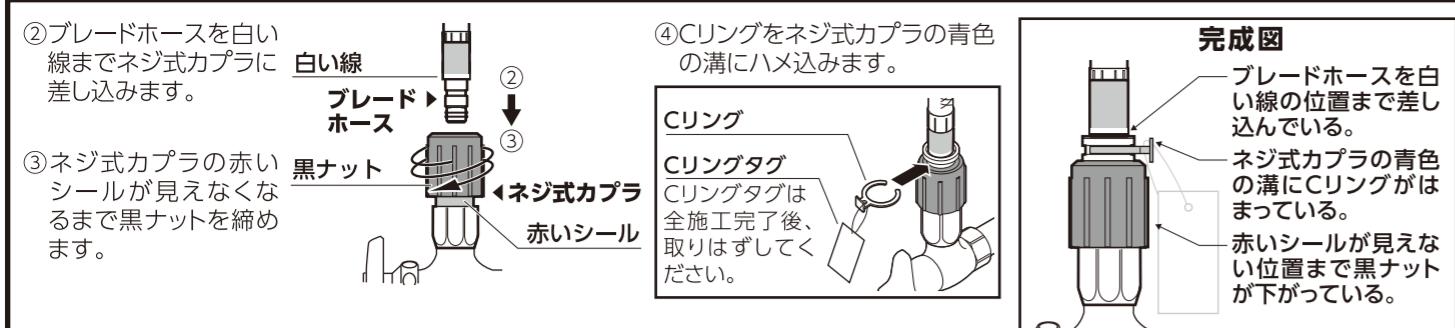
やけどや家財などを漏らす財産損害発生のおそれがあります

湯水を逆に配管しないでください。

他所の水栓の使用等により水圧変動が起こり、湯を使用中に湯温が急上昇することがあります。

給湯に蒸気を使用しないでください。

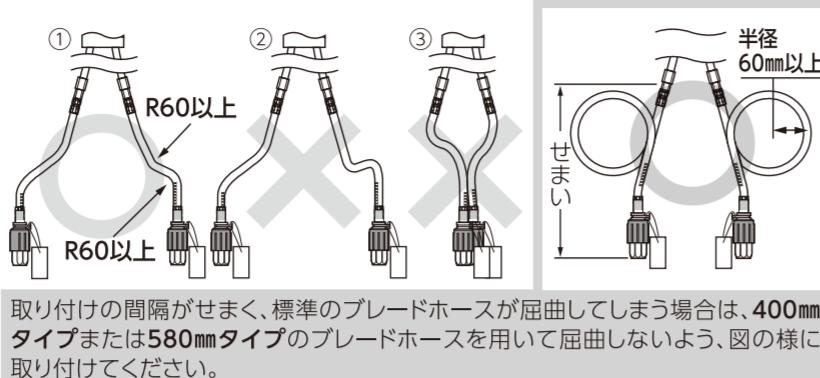
湯側の配管には手を触れないでください。



△注意 水が出なくなることがあります

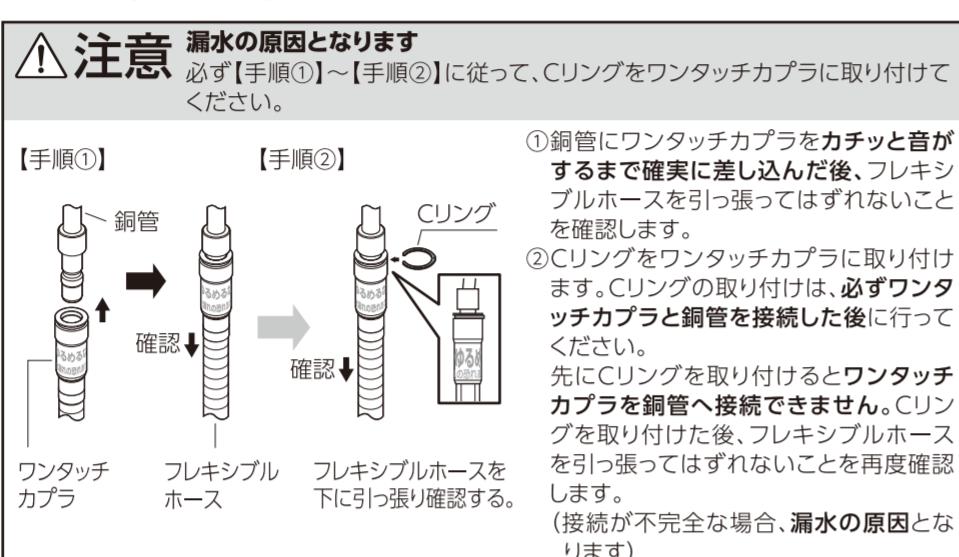
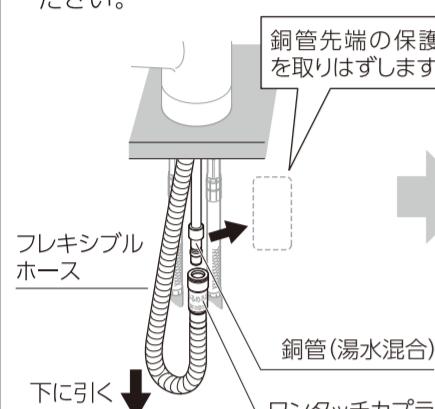
ブレードホース(湯側・水側)の施工上の注意点

- ①ブレードホースの折れに注意してください。ブレードホースを最小曲げ半径(60mm)よりも小さく曲げて使用すると、ブレードホースが折れることができます。折れた部分で早期破壊を生じる可能性があります。施工時には最小曲げ半径(60mm)よりも小さく曲げないように、注意してください。
- ②ブレードホース端面から極端に屈曲して、施工しないでください。
- ③ブレードホース同士の不要な接触は避けてください。外部補強層の摩耗による外傷でブレードホースの性能が劣化するおそれがあります。

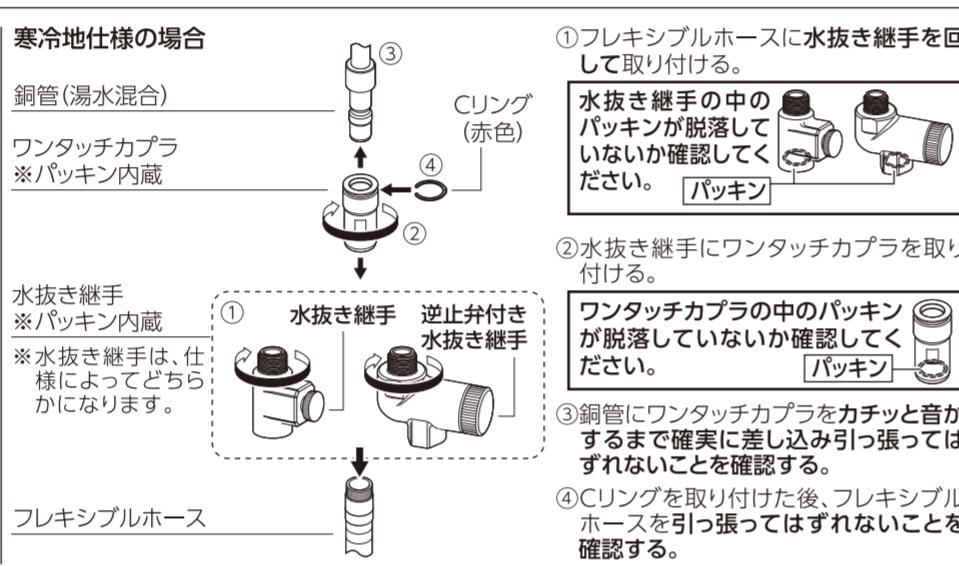
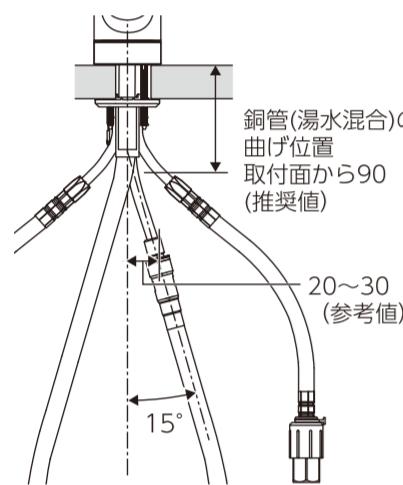


1-6 フレキシブルホースを吐水口側の銅管(湯水混合)に取り付ける

①フレキシブルホースをシンク下に引き出して、銅管(湯水混合)に接続してください。

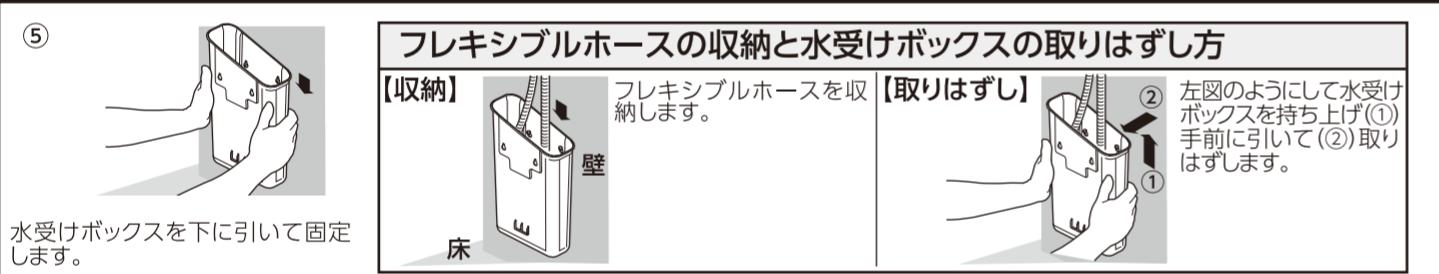


②銅管(湯水混合)を正面からみて15°右に曲げます。



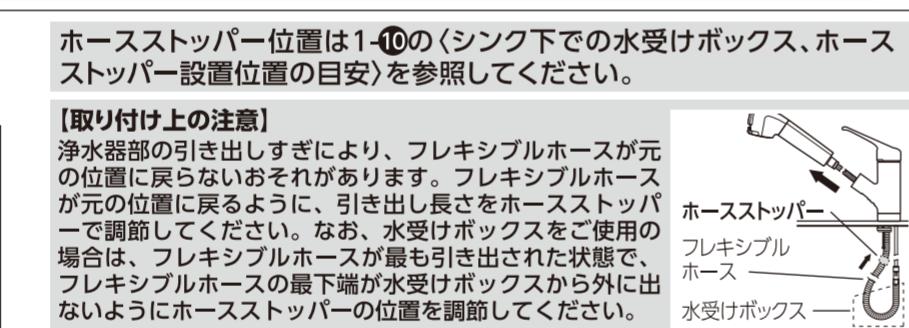
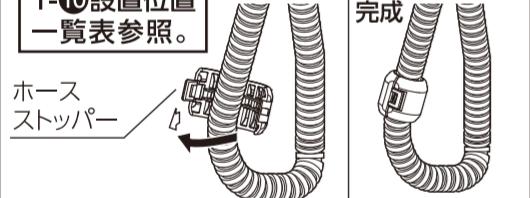
1-7 水道配管の止水栓を開ける

レバーハンドルが閉じていることを確認してから、配管部およびシンク下の止水栓(湯側・水側)を開けます。



1-10 ホースストッパーを取り付ける

フレキシブルホースをはさみ込みます。

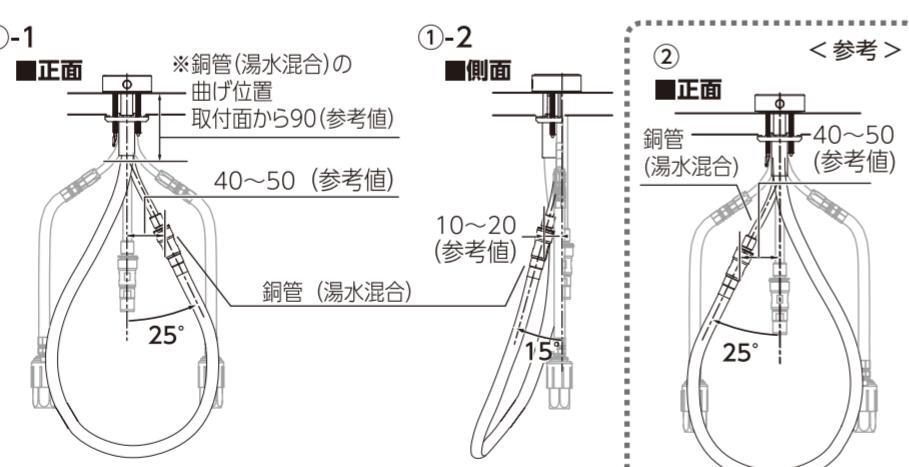


タンクレス仕様の施工の仕方

銅管(湯水混合)を曲げて、フレキシブルホースが止水栓に接触しないようにする

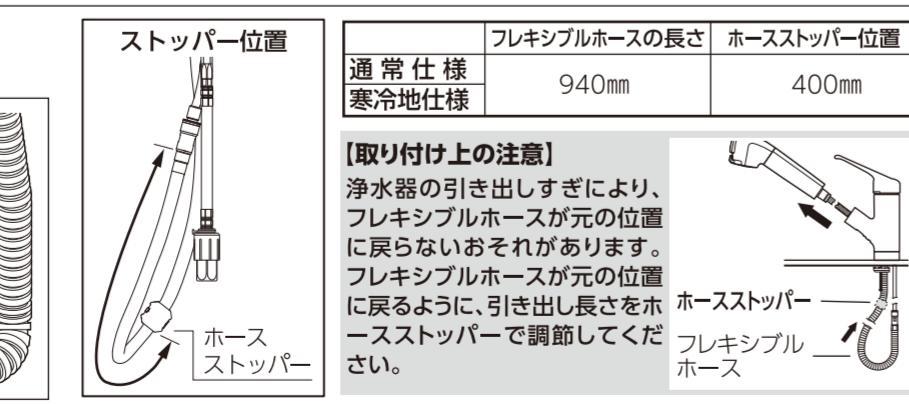
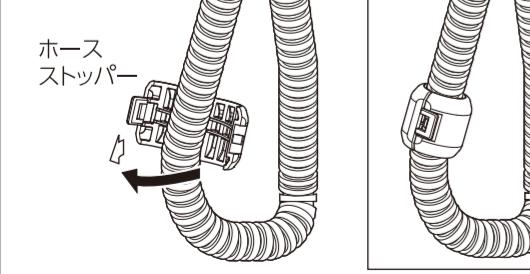
- ①銅管(湯水混合)を正面からみて25°右に曲げます。
※銅管を曲げる時は、折り曲げ位置に注意してください。銅管ガイドが銅管からはずれ、フレキシブルホースがスムーズに取り扱えない可能性があります。
- ②銅管(湯水混合)を正面からみて15°手前で曲げ、止水栓や他部位に接触しないようにします。

フレキシブルホースの出し入れを繰り返して、止水栓および他部位に干渉しないことを確認ください。干涉する場合は、ワントッチカプラをはずし、②のように銅管を左に曲げた後、ワントッチカプラを接続しないで微調整し、干渉しないようにしてください。



ホースストッパーを取り付ける

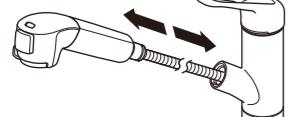
フレキシブルホースをはさみ込みます。



2.取り付けが終わったら

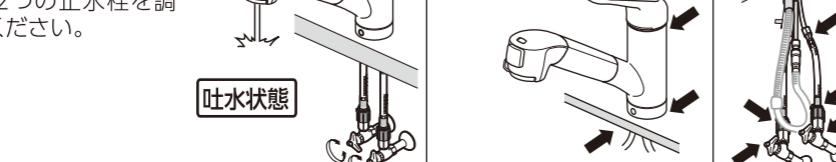
2-1引き出し・収納がスムーズに行えるか確認する

浄水器部の引き出し、収納を数回行い、正常に戻ることを確認してください。フレキシブルホースがスムーズに出入り出来ない場合は、給水・給湯の銅管部を左右に広げてフレキシブルホースの通る空間を確保してください。



2-2止水栓で吐水量を調節する

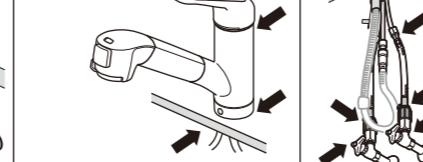
使用時、水側全開および湯側全開のときの吐水量が最適となるように水側・湯側の2つの止水栓を調節してください。



2-3各接続部の水漏れがないかをチェックする

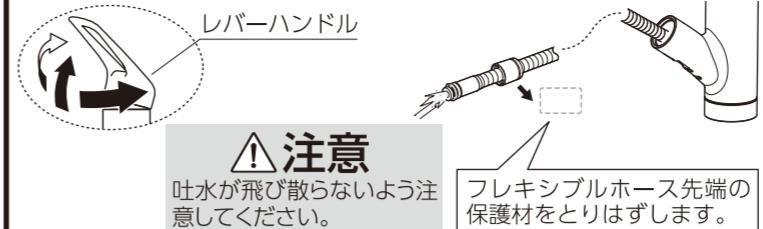
施工完了後は、配管接続部、ネジ式カプラ

および水栓から水漏れないことを確認してください。



1-8浄水器部を取り付ける前に給水管内のゴミなどを洗い流す

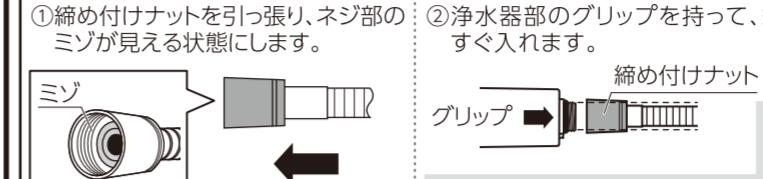
レバーハンドルを上げて左右に振り、給水・給湯管内のゴミなどを完全に洗い流してください。その後レバーハンドルを下げる閉じてください。



△注意

吐水が飛び散らないよう注意してください。

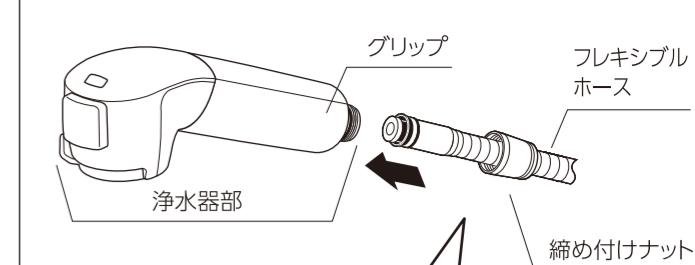
フレキシブルホース先端の保護材をとりはずします。



△注意

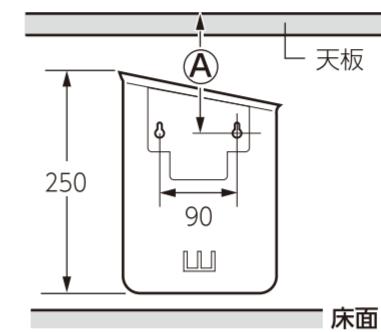
浄水器部は斜めに取り付けないでください。浄水器部側のネジ山が削れて故障や水漏れの原因になります。

1-9浄水器部を取り付ける



1-10水受けボックスを設置する場合

<シンク下での水受けボックス、ホースストッパー設置位置の目安>

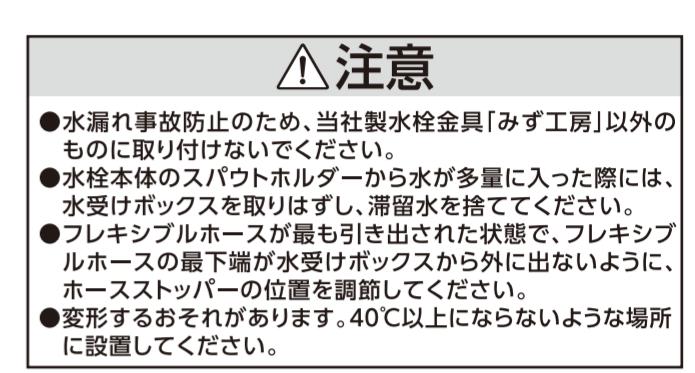


■上位仕様 設置位置一覧表

通常仕様	フレキシブルホースの長さ	設置位置(A)	ホースストッパー位置(B)
通常仕様	940mm	310mm	400mm
寒冷地仕様	330mm		

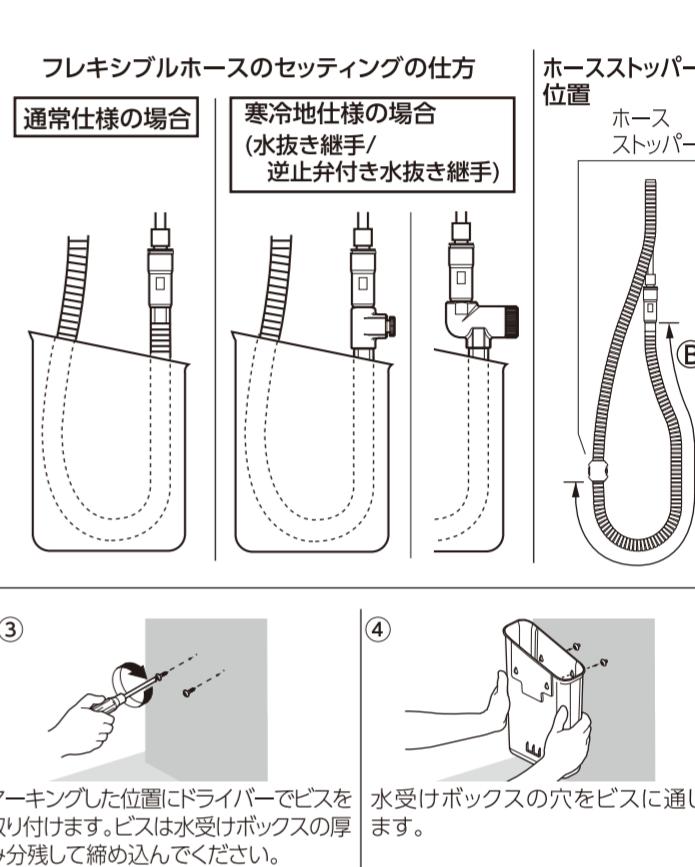
■分歧仕様

通常仕様	フレキシブルホースの長さ	設置位置(A)	ホースストッパー位置(B)
通常仕様	340mm	340mm	460mm
寒冷地仕様	1050mm	360mm	490mm



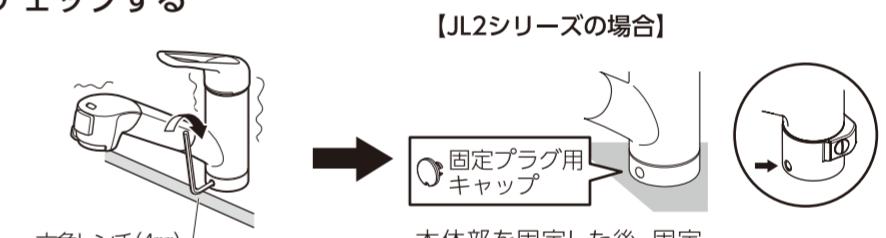
△注意

- 水漏れ事故防止のため、当社製水栓具「みず工房」以外のものに取り付けないでください。
- 水栓本体のスパウトホールドーから水が多量に入った際には、水受けボックスを取りはずし、滞留水を捨ててください。
- フレキシブルホースが最も引き出された状態で、フレキシブルホースの最下端が水受けボックスから外に出ないように、ホースストッパーの位置を調節してください。
- 変形するおそれがあります。40°C以上にならないような場所に設置してください。



2-1本体部がガタついていないかをチェックする

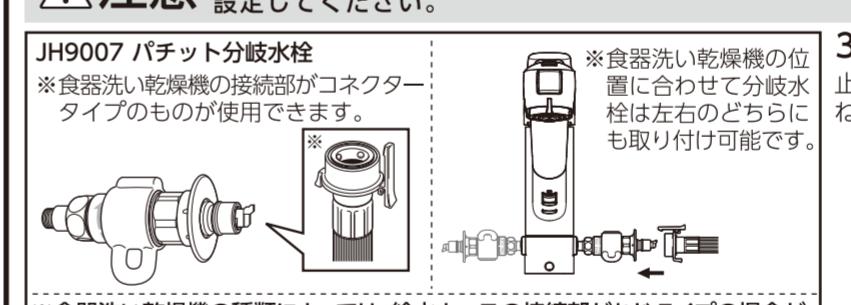
施工完了後、本体部にガタつきがある場合は、固定プラグ用キャップをはずし、六角レンチ(4mm)でセパレートユニット固定プラグを増し締めてください。



施工完了後、品質表示/節湯C1タグは本体に取り付けておいてください。

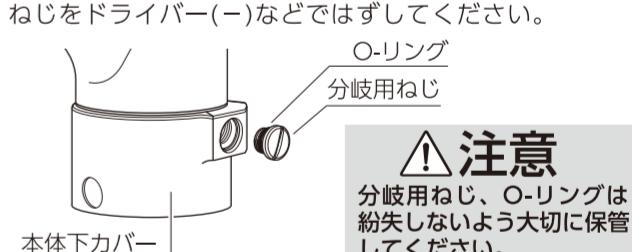
3.食器洗い乾燥機とつなぐには(分岐シリーズの場合)

△注意 分岐水栓接続口からはお湯が出ます。食器洗い乾燥機を使用する場合には、必ず給湯温度を60°C以下に設定してください。



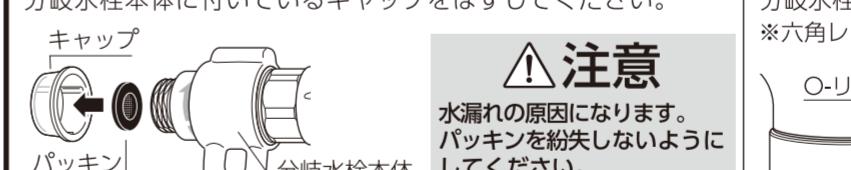
3-1分岐用ねじをはずす

止水栓を閉めた後(1-1参照)、接続したい側の分岐用ねじをドライバー(-)などではさしてください。



3-2キャップをはずす

分岐水栓本体に付いているキャップをはずしてください。



△注意

水漏れの原因になります。パッキンを紛失しないようにしてください。

3-3アダプターを取り付ける

分岐水栓のアダプターを水栓本体に取り付けてください。



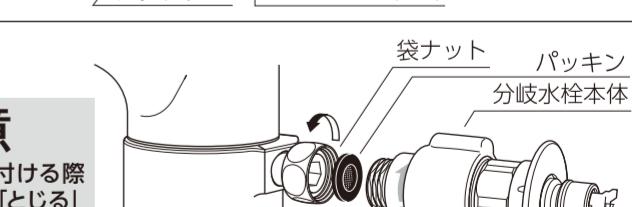
3-4分岐水栓本体を固定する

パッキンを袋ナットにハメ込み、袋ナットを回して分岐水栓本体を固定してください。



△注意

分岐水栓本体を取り付ける際は、必ず切替レバーを「とじる」の状態にしてください。



3-5取り付けがおわったら

止水栓を開けてください(1-7参照)。その後、水漏れないことを確認してください。

免責事項

以下の事項にて発生した損失や損害に対して株式会社タカギは一切責任を負うものではないことをあらかじめご了承ください。ご利用はお客様の責任で行っていただきますようお願いいたします。

1. 施工説明書などに基づかない施工、専門業者以外による移動・分解・改造などに起因する不具合。
2. 建築躯体の変形（強度不足・ゆがみ）など製品本体以外の不具合に起因する製品の不具合。
3. 電気・給水などの供給で指定された以外の環境に起因する故障および損傷。
4. 自然現象や住環境に起因する結露、染み出しがある。
5. 水道に関する国基準（水道法）に定められた飲料水の水質基準に適合しない水を給水したことに起因する不具合。

■アフターサービスについて

破損した部分の交換や設置、使用上のご不明な点など、本商品に関する事柄は、当社までお問い合わせください。

■商品に関するお問い合わせは

タカギ・コミュニケーションセンター ミズは よい水
電話番号 0120-328-413 24時間電話受付 (年中無休)

株式会社 タカギ
http://www.takagi.co.jp/